

MRI 検査を受ける患者さんへ

MRI 検査（磁気共鳴画像診断）について

MRI 検査を安心して受けていただくため必ず最後までお読みください。

1 MRI 検査とはどんな検査？

- MRI 検査は強力な磁石の穴の中に入り、強い磁気と FM ラジオなどで使われている電波を体にあてて、縦・横・斜めなど体のさまざまな断面を鮮明な画像にする検査です。放射線を使用しないので、被爆の心配はありません。

2 MRI 検査事前の注意事項

- 検査当日の食事は、普通にとりください。食事や飲水の制限はありません。
- 服用中のお薬は、医師から指示がない限りいつも通り服用してください。
- 導電性のある金属を含む貼付剤(ニトロダームなど)を使用したままの検査は、貼付部位に火傷を引き起こす危険性がありますので、事前にはずしてください。
- 次に該当する方は、検査を受けられない場合がありますので、必ず事前にお知らせください。
 - ▽心臓ペースメーカを体に入れている方
 - ▽外傷や手術で人工関節や脳動脈クリップなどの金属が体内にある方
 - ▽妊娠もしくは妊娠している可能性のある方
 - ▽閉所恐怖症など狭い場所が極度に苦手な方
 - ▽入墨やパーマネントアイラインなどのアートメイクをされている方
 - ▽持続血糖測定器を使用されている方
- 下記を使用されている方は、検査当日の装着はお控えください。
 - ▽カラーコンタクトレンズ（UV コンタクトレンズ含む）

カラーコンタクトレンズには酸化鉄や酸化チタンなどの金属が使用されていることが多く、磁気に反応して熱を帯び、角膜や眼球に影響を及ぼす危険性があります。
 - ▽ネイルアート（マグネットネイル）

ネイルアートの素材が磁気に反応して爪や皮膚の火傷や変色、焦げた臭いが生じる危険性があります。また、剥がれたネイルが磁力で MRI 装置に吸着すると故障の原因になります。装着部位（手指・足指）に限らず除去してお越しくください。
 - ▽マグネットつけまつ毛

MRI 装置に吸着し故障の原因となります。また、専用のアイライナーには火傷の可能性があります。
- お化粧品は検査前に落としていただきますので、当日は薄化粧でお越しくください。

3 検査前の準備

- 金属は検査の妨げになりますので、次のものは取りはずしてください。
 - ▽金属類：時計、ネックレス、イヤリング、ライター、鍵、ヘアピンなど
 - ▽眼鏡、カーラーコンタクト、補聴器、入れ歯、使い捨てカイロ、治療用針など
 - ▽貼付剤（ニトロ、ニコチン、エレキバンなど）
 - ▽化粧品（マスカラ、アイライン、アイシャドウなど）の中には金属を含んでいるものがあるため落としていただきます。（備え付けのクレンジングシートをご利用ください）
 - ▽ウィッグ（持参したバンダナを巻いての検査は可能です）。

4 検査中の実際

- MRI 装置の検査台に仰向けに寝て、体の力を抜いてリラックスしてください。
- 検査中に体を動かすと画像が乱れてしまうため、体を動かさないようにしてください。
- 検査中は、検査担当者とマイクを通して会話ができますので、ご安心ください。
- 検査中は、連続した大きな音がするためヘッドフォンを装着していただきます。
- 検査時間は、検査内容によりますが、おおよそ 30 分くらいです。

5 検査終了後

- 普段通りに生活していただいて構いません。
- 検査結果は主治医が説明致しますので、指定された日時に来院してください。